



議案	賛	否	議員																	議決結果							
			公明党			日本共産党			新政クラブ			会派の所属なし (議席番号順)															
			村上清彦	倉島良司	稲毛明	岡部直史	宮脇雅夫	福住つゆ子	江口卓王	佐竹政志	山賀清一	雪正文	風間輝栄	清水友行	中島正昭	石川恒夫	高橋幸信	山口功位	遠藤智子	池田強	泉誠蔵	帆刈剛	山崎正春				
市長提出議案	予算	当初予算	平成22年度阿賀野市病院事業会計予算 収益的収支の収入は、医業収益15億240万1千円等総額19億5,000万7千円。支出は、医業費用19億1,712万円、特別損失8億5,220万円等総額29億5,833万1千円。収支差引10億832万4千円の赤字となるが補填財源の充当で資金不足は生じない見込み。資本的収支の収入は、企業債11億2,210万円等総額13億2,997万1千円。支出は、建設改良費3億8,500万円等総額5億1,428万3千円。収支差引8億1,568万8千円の収入超過となるが収益的収支の資金不足に充てる。																								可決
			阿賀野市交通安全条例一部改正について 平成17年10月に日本道路公団等道路関連4公団の廃止に伴い、交通安全対策会議の特別委員に委嘱できる者を、日本道路公団の職員から東日本高速道路株の職員に改める。																								可決
	阿賀野市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について 国、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、職員の配偶者の就業等の状況にかかわらず、職員は育児のための早出遅出勤務及び時間外勤務の制限を請求することができることとするもの。																								可決		
	阿賀野市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について 国、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、職員の配偶者の就業の有無や育児休業の取得状況にかかわらず、職員は育児休業することができることとするもの。																								可決		
	阿賀野市特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部改正について 寒冷地手当の支給についての経過措置が平成21年度で終了したことから、条文を改めるもの。																								可決		
	阿賀野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について 寒冷地手当の支給についての経過措置が平成21年度で終了したことから、条文を改めるもの。																								可決		
	阿賀野市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について 慣例的に実施してきた法令で定めるもの以外の給与からの控除を条例で定めると共に、再任用短時間勤務職員及び育児短時間勤務職員等の月60時間を超える場合の時間外勤務手当を定めるための改正。																								可決		
	阿賀野市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正について 県実施要領の一部改正を受け、里親に委託された児童に限らず、児童福祉法第27条第1項第3号及び同第2項に規定する措置を受けた者は、措置費で医療費が支弁されることから、医療費助成の対象としないこととするもの。																								可決		
	阿賀野市乳児子どもの医療費助成に関する条例の一部改正について 県実施要領の一部改正を受けて同様に改正し、併せて、3人以上の子どもを有する世帯と3人未満の子どもを有する世帯との助成格差を解消するため、市単独で通院の医療費助成の対象を3人未満の子どもを有する世帯について全子小学校3年生までに拡大するもの。																								可決		
	阿賀野市上下水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について 寒冷地手当の支給についての経過措置が平成21年度で終了したこと、並びに引用している法律名の改正により、条文を改めるもの。																								可決		
	阿賀野市火災予防条例の一部改正について 固体酸化型燃料電池の実用化及び商品化に伴い、この発電設備（燃料電池）が消防法の火気設備等に加えられたことから、発電設備の位置、構造及び管理基準を新たに定めると共に、特定共同住宅等省令の一部改正により引用している条文を改めるもの。																								可決		
	阿賀野市病院事業管理者の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正について 病院事業管理者の給料月額について平成22年7月1日から9月30日までの間は100分の40の減額を行う。																								可決		
追加議案	阿賀野市職員等の給与の特例に関する条例の一部改正について 市長の給料月額について平成22年7月1日から9月30日までの間は100分の30の減額を行うとともに、副市長の給料月額について平成22年7月1日から9月30日までの間は100分の20の減額を行う。 ※追加議案に至った背景 郷病院の経営状況悪化に伴う市の財政負担の増加や労使関係の改善が一向に進まない中、3月25日の臨時議会での市長発言や、6月4日の議員全員協議会で議会の意見等を無視し病院事業管理者を再任したことから、市長としての統治能力の欠如と設置者責任を明確にするよう議会の総意として提言し、追加議案となったもの。																								可決		
	今板周辺道路の消雪パイプ設置工事に関する請願 今板集落周辺道路の消雪パイプを設置してほしい。																								採択		
請願・陳情	備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める請願 08年産を含む30万トン相当の備蓄米を、適正な価格で買い入れることを求める意見書を政府・関係機関に提出してほしい。																								採択		
	適正規模の少人数学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択を求める陳情 適正規模の少人数学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書を関係機関に提出してほしい。																								採択		
	子宮頸がん予防ワクチンの公費接種を求める意見書の提出について 子宮頸がんの予防ワクチンが開発されたことに伴い、日本でも昨年末に承認、販売され接種が認められた。子宮頸がんはワクチンで予防できる唯一のがんであり、子宮頸がん予防ワクチンの公費接種を求める意見書を関係機関に提出する。																								可決		
意見書	委員提出議案 備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める意見書の提出について 08年産を含む30万トン相当の備蓄米を、適正な価格で買い入れることを求める意見書を政府・関係機関に提出する。																								可決		
	適正規模の少人数学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択を求める意見書の提出について 適正規模の少人数学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書を関係機関に提出する。																								可決		

○：賛成 ×：反対 欠：欠席